

たまき社協だより

2014.8
No.51

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人・マジックふらわあ



玉城町でボランティア登録されている団体を紹介します。

マジックでみんなを楽しませられるのは、設立12年目の『マジックふらわあ』です。

6月の「げんきですたまきまつり」でも楽しく盛り上げてくれました。

いつもは、高齢者の福祉施設や保育所などを訪問し、披露しながら笑顔の交流を行っています。

活動について代表の鹿島^{かしま}さんは「マジックを習得することで老後の生きがいとそれを見守ってくれる人たちの笑顔を感じられることが嬉しい」と話しています。

会員は、4名と少ないのですが、日々練習を重ね、次のステージに備えています。

興味のある方は、玉城町社会福祉協議会ボランティアセンター（☎58・6915）までお問い合わせください。

※この広報は、社協会費と共同募金配分金事業によって発行しております。

平成25年度 社協事業報告

事業方針に基づく進捗状況

平成25年度、地域福祉分野では、元気ですたまき委員会の提言「地域福祉力向上作戦」のもと、住民同士のつながりを深めるためあいさつ運動の継続的な活動をはじめ、地域へ出向いて多世代交流（楽笑会）事業を拡大するなど、組織関係部署の連携を重視し取り組んできました。このことは、町の地域力・福祉力、また社協のブランド力の向上につながるものとして、特に力を入れてきました。同時に活動助成のための「社会福祉協議会地域福祉補助金」を設け協働互助の体制を一步前進させました。

ボランティア活動においても、改めて団体同士の連携や養成が重要な時期になってきました。

受託事業では、元氣バス事業は5年を経過し、高齢者を中心に安心して元氣に外出できる手段として定着しています。その効果は、医療費の抑制にも見え始め、検証を続けているところです。

また、改善、経営面では、課題であった職員給与を改訂し、健全運営に取り組みました。

以上のように、新たな事業の展開と同時に改革改善にも努め、事業方針を

予定どおり進めることができました。

今回の号では、平成25年度の事業内容を次のように、報告します。

◆法人運営

法人運営の経営体制の強化

理事会、評議員会開催

社会福祉協議会会員制度等の推進

社協会員区分		口数	会費
個人会員	300円/口	1,821	546,300円
団体会員	5,000円/口	69	345,000円
賛助会員	10,000円/口	35	350,000円
計			1,241,300円
寄付金金額		1,764,703円	
チャリティバザー金額		78,600円	

社会福祉協議会の役割や活動周知

- ① 『元気ですたまきまつり』の開催
6月2日（日）に開催。

②普及宣伝

- ・ 広報「たまき社協だより」発行
- ・ ホームページ・フェイスブックの活用

役員・職員等の資質向上研修の取り組み

各種関係機関・団体との連携強化

- ① 民生委員児童委員協議会活動
民生委員33名
主任児童委員2名
- ② 福祉協力員の活動
21名

団体名	会員数
玉城町老人クラブ連合会	1778名
玉城町身体障害者福祉会	172名
玉城町遺族会	304名
玉城町母子寡婦福祉会	33名
玉城町手をつなぐ親の会	23名

③福祉5団体の会員状況

◆地域福祉事業の推進

身近な地域で福祉サービスを享受できる地域づくり（生活支援事業）

【高齢者支援事業】

- ① 高齢者サロン 町内7か所
- ② ほのぼの便（安否確認）
対象：129名
- ③ 歳末援護事業（まごころ弁当）
対象：144名
- ④ ホットサークル（介護者のつどい）
年4回開催
- ⑤ ぴんの会（独居高齢者支援事業）
年12回
- ⑥ 給食サービス
年19回 延べ425食
- ⑦ 楽笑会（らくしゅうかい）
2地区開催
（下外城田地区・有田地区）

【子育て支援事業】

- ① 子育てサロン（カラフルらいおん）
年11回開催

【障害者支援事業】

- ① はつぴいサークル 年6回

積極的に社会参加できる環境づくり（社会参加事業）

- ① 元気ですたまき事業
委員会の運営
・ あいさつ強化運動（毎月第3火曜日）
・ あいさつ人として、12月から障がい者福祉施設「宮の里」、3月から「南勢就労支援センター」の職員もあいさつ強化デーに加わっています。
・ 元気ですたまきオリジナル体操推進
・ 健康しあわせ委員会との協働活動
「しあわせの一行詩」募集
桜ウオーキングの実施
・ おせつまつたまき婚活イベント開催
12月22日開催。

住民ニーズに沿った活動や計画づくり（総合福祉事業）

- ① 福祉用具等貸出事業
- ② ふくしを支える勉強会
9月14日（土）開催。
- ③ 語り継ごう戦争体験（玉城町遺族会との共催）
8月10日（土）開催。
- ④ 地域福祉活動計画の推進
住民主体の取り組みとして「地域福祉力向上計画」をまとめた。パンフレットを作成いたしました。

◆ボランティア活動及び福祉教育の推進

ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

① ボランティアセンター活動の充実

- ・ ボランティアセンター会議の開催
- ・ ボランティア団体への支援
- ・ ボランティア交流事業の開催
- ・ ボランティア養成講座の開催
- （パルンボランティア）

② ふれあい福祉サービス（ちよこつと）有償ボランティア

登録利用人数：15名

児童生徒の福祉意識の高揚

- ① 福祉体験教室の開催
- ② 福祉協力校の育成
及び 活動への助成
396,000円
- ③ 児童生徒の福祉参画促進

開催日	参加人数
8月1日	18
8月8日	17
10月13日	5

◆相談・援助事業

福祉相談機能の充実強化

- ① 心配ごと相談 20件
- ② 窓口総合相談 29件

低所得者世帯の生活安定事業

- ・ 貸付相談数 29件
- ・ 生活福祉資金貸付 25件
- ・ 町世帯更生資金貸付 13件

福祉サービス利用に関する相談援助事業

- ① 地域福祉権利擁護事業利用者6名

◆受託事業の運営

バス事業

- ① 研修バス 利用件数265件

② 福祉バス延べ利用人数3,133名

- ③ 元氣バス 登録者数：1,277人
利用者数：延べ26,296人
- ④ すまいるバス（介護予防事業参加者への移動支援バス）
延べ利用人数1,619名

各種福祉団体事業の運営

◆募金活動の推進

- ① 日本赤十字社募金（5月）
1,803,300円
- ② 共同募金・歳末助け合い募金（10月12月）
1,963,580円
- ③ 東日本大震災義援金 みえ災害ボランティア支援センターへ
72,584円

◆在宅福祉事業の運営

介護保険事業の推進と実績

- ① 居宅介護支援事業
・ ケアプラン作成 1,663件
- ② 通所介護支援事業
・ 延べ利用者数 9,714名
- ③ 訪問介護支援事業
・ 延べ利用者数 9,269名

障害者支援事業の取り組みと実績

- ① 生活介護事業 夢工房たまき
・ 延べ利用者数 2,949名
- ② ホームヘルプサービス

移送サービス支援事業

- ① 福祉有償運送事業
・ 延べ利用者数 2,205名

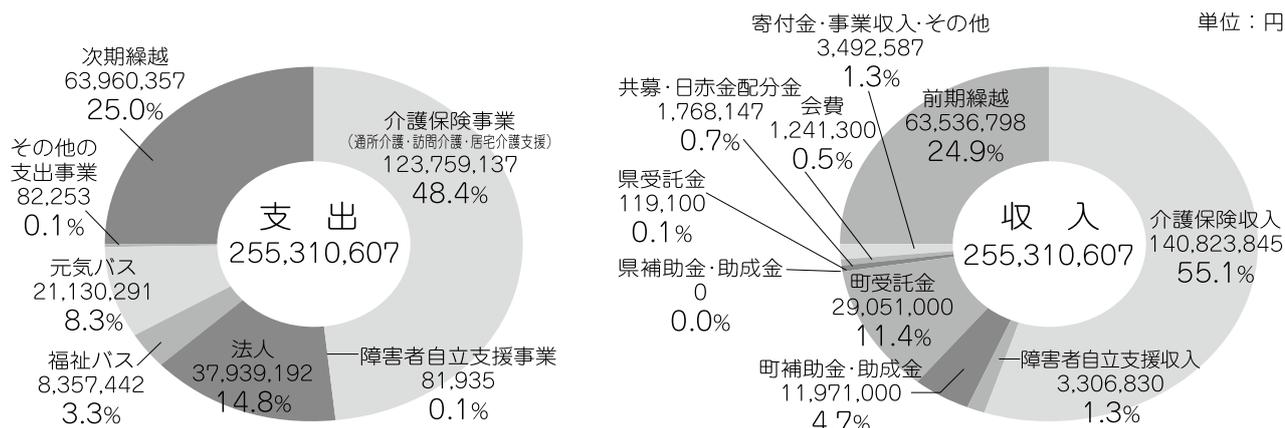
◆地域住民からのニーズ事業

シルバー人材センター事業
延べ作業人数：1,989名



楽笑会（有田地区）カローリングで交流する参加者

平成25年度 一般会計収支決算



元気ですたまきまつり開催

今年も6月1日、保健福祉会館を会場に「元気ですたまきまつり」を開催しました。

梅雨空とはいえ大変暑いなかで、玉城中学校吹奏楽部の演奏がオープニングを飾ってくれました。

「元気ですたまき」の体操も演奏に合わせて、多くの方にご参加いただき、一体となることができました。今年度のまつりのテーマは、『みんなで広げようたまきの輪』。

今年度の参加団体は、58団体。町内の新しい障がい者施設や町外からのボランティアなどの参加も得ながら、ボランティアや福祉団体のみなさんの協力のもと、来場者のみなさんとの出会い・つながり、様々な福祉活動にふれる機会となりました。

新しい催しでは、地震体験車での震度の体感や子供たちの壊れたおもちゃを治す「おもちゃ病院」の開設。昔ながらのかまどで蒸した餅米を杵と臼でついた餅の振る舞いも多くの方に喜ばれました。

また、チャリティービンゴでは参加費で得た収益28,000円を東日本震災支援として、日本赤十字社を通じて、被災地に贈りました。
※元気ですたまきまつりは、共同募金配分金を活用しています。



玉城中学校吹奏楽部の演奏に合わせて「元気ですたまき体操」



ふれあいホールの様子



地震体験車



暑さをしのぐかき氷



ホールロビーでのお楽しみ演奏コーナー



いきいきメイクコーナー



餅つき・ふるまいの様子



健康づくりを推進する健康しあわせ委員会コーナー



老人クラブカローリングコーナー



おもちゃ病院

元気ですたまきまつり 民生委員質問コーナー

民生・児童委員協議会では、非常食の試食や災害に関する質問コーナーを今回も設け、180人を超える方々にお答えいただきました。昨年度と比較し、関心を持つ方々増えていることが伺えました。



項目	平成25年度		平成26年度	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 自分の地区の避難場所を知っていますか。	71.1%	28.9%	80.5%	19.5%
② 災害時の非常持ち出し袋の用意と点検ができていますか。	47.9%	52.1%	59.9%	40.1%
③ 家族との連絡が取れるようになっていきますか。	80.1%	19.9%	82.1%	17.9%
④ 自宅の耐震診断ができていますか。	35.8%	64.2%	45.8%	54.2%
⑤ とおり近所の人と会話していますか。(あいさつ、日常会話など)	95.7%	4.3%	96.5%	3.5%
⑥ 家具の固定をしていますか。	35.3%	64.7%	39.5%	60.5%

元気ですたまきいきいきアンケート集計

あいさつの習慣あっても強化デーを知る人は6割どまり

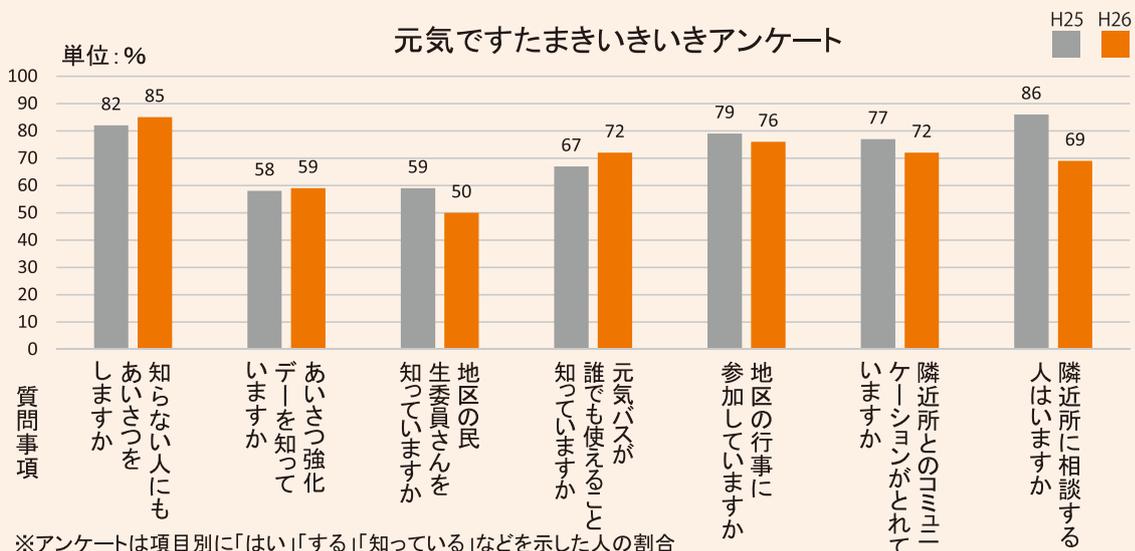
元気ですたまきまつり会場内で、来場者を対象にアンケートを実施しました。このアンケートは元気ですたまき委員会が行っているもので、内容は「知らない人もあいさつができていますか」「あいさつ強化デーを知っているか」「地区の行事に参加しているか」など9項目。項目ごとに14歳以下の年少、65歳までの生産年齢、高齢者など階層に分けて聞き取りました。

昨年と比べて分かることは、あいさつは誰とでもできる一方、毎月第3火曜日の強化デーの取り組みを知っている人が6割どまりと、まだまだ周知が行き届いていないことがうかがえます。

また、地区の行事には多くの方が参加されていますが、階層別に見ると75歳以上の高齢者の参加率が高い傾向を示していることや、さらに健康度と民生委員の認知度が反比例することも分かりました。

「町のどのようなところが好きか」と尋ねる意見項目には、年少階層で友達がやさしい、生産年齢階層では自然のよさや子育てのしやすさ、高齢者階層では住みよさをあげる人も多くありました。

委員会では、アンケート結果をよりよい福祉事業推進のため活用させていただきます。ご協力いただきましたみなさんありがとうございました。



元気です たまき委員会

ふだんのくらしのあわせ

おじやまします

『地域の福祉力！万歳！』



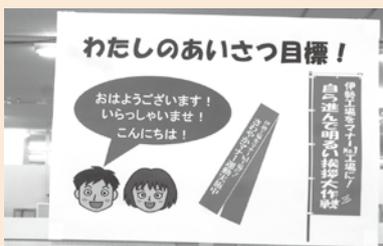
これは、
菊川さん地域であ
いさつや
と菊川さん
支え合
い活動を行
う団体の
活動イン
タビュー
野田さん
です。

今回は、パナソニック(株)伊勢工場のさわやかマナーの取り組みについてお伺いしました。

インタビューにお答えいただいたのは、さわやかマナー推進事務局の土岐章さん、菊川美和さん、野田理央さんです。

①どのような取り組みをされていますか？

各職場にマナー推進担当を配置し、毎月1回朝の全体集會時にあいさつ運動を行っています。



自ら掲げるあいさつ目標

調査結果がありました。このことをきっかけに、あいさつが飛び交う爽やかな工場にして

また、工場内で働く全従業員を対象にマナー向上を目的とした参加型の実践演習「マナー道場」を開催しています。

これは、体で覚えるマナーの意識づけとして、あいさつの目的や心がけ、動作の仕方などを実践に取り入れ確認し、自らのあいさつ目標を掲げて向上に努めるものです。確認試験も行います。

②「マナー道場」は、どんなきっかけで始められたのですか？

5〜6年前、外部機関によるマナー調査で、「あいさつする人が少ない。馴れ馴れしい言葉づかいである」などの



マナー道場を受講している様子

いこうと取り組み始めました。

③活動を始めて変化はありましたか？

外から来られたお客様からも明

るい工場になったとのお褒めの言葉をいただくようになり、外部評価も良い結果が出るようになりました。

④活動を通して気づかれたことはありますか？

お客様はもちろん、従業員同士のあいさつが増えてきました。あいさつのある職場は、居心地がいいです。

⑤玉城町のみなさんにメッセージをお願いします。

工場の中でもあいさつ運動を実施しています。玉城町があいさつと笑顔の溢れる町になるよう、私たちもますます活動を広げて参ります。

おせつ Kai たまき 主催 婚活事業

素敵な出会いを七夕の短冊にこめて

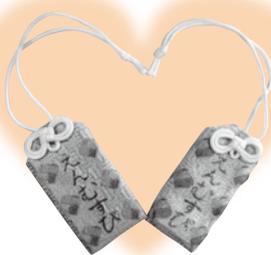
7月5日(土)おせつ Kai たまき主催「婚活イベント」を開催しました。

2回目となる今回も、田丸神社での祈禱を受け、今日の良縁を願うことから始まりました。

その後、場所を保健福祉会館に移し、1対1で参加者全員とお話する自己紹介タイム、コミュニケーションゲームで更に打ち解けていただき、フリートークで気になった相手へ最後のアプローチを行い、意中の相手を決めました。

その結果…3組のカップルが誕生しました。

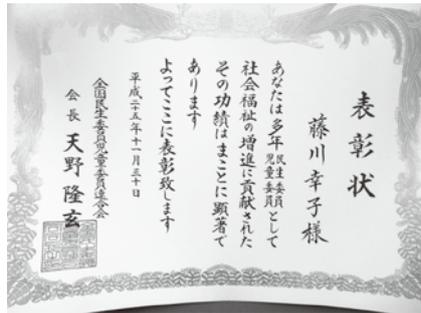
未来の二人に、玉城町の明るい未来を重ね合わせ、縁を育んでいただくことを願っています。



縁結び守り

全国 民生委員児童委員 連合会会長表彰

昨年12月、民生委員児童委員を
退任された藤川幸子さん（蚊野茶
屋）が5期15年地域の相談員とし
て勤めて頂
いたその功
績を称えら
れ永年勤続
退任民生委
員・児童委
員の部で表
彰を授与さ
れました。



民生委員・福祉協力 員合同研修会開催

12月の改選後、初めての顔合わ
せも兼ねた合同の研修会を7月9
日（水）に開催しました。

活動目的である災害時の要援護者
支援のひとつとして救急救命の対
応について、伊勢市消防本部消防



真剣な表情で受講する民生委員・福祉協力員

課と玉城町消防団女性部の方々を
講師に、心肺蘇生法とAEDの使
用、また応急処置として異物除去
と止血の方法を学びました。

参加者全員が体験できるように小
グループに分かれ、質問を交えな
がら実地にあたりました。

体験が初めての方、何度目かの
方もお見えになりましたが、「見て
いるだけではわからない。やって
みるとよくわかる。」「体で覚える
ように何回でも取り組んだほうが
いい」などの意見がありました。
日頃の連携も含め、今後も合
同の研修など進めていきたいと
思います。

ボランティア 地域交流事業

伊勢湾 森・川・海のクリーン アップ大作戦

5月に予定し雨で延期になって
いたごみ拾いを7月2日（水）に
実施しました。

これは、県が推進する「伊勢湾
森・川・海のクリーンアップ大作
戦」の事業に取り組むもので、町
内障がい者施設・ボランティア団
体・民生委員が参加し毎年行っ
ています。

今年は、暑い時期になってし
まったので、少しコースを変え、
玉城インター付近から保健福祉会
館までと栄町3区交差点付近から
保健福祉会館までの2コースに分
かれて、約1時間15分ほど行いま
した。

交通量の多い道路沿いでした
ので、ポイ捨てされたタバコや
空き缶などたくさんのごみを拾
いました。



ごみ拾いに汗を流す参加者

その後、保健福祉会館に戻り、参
加団体の紹介や自己紹介などを行
いました。
「きれいになってよかった」とみん
なで気持ちのよい汗を流しました。

玉城町社会福祉協議会 職員人事

（4月1日付）

【昇格】

- ・次長 北岡知佐子
- ・地域福祉係長
井原俊幸
- ・介護事業所係長
奥山善子

『第5回語り継ごう戦争体験』開催

主催：玉城町遺族会 共催：玉城町社会福祉協議会

終戦記念日を前に“戦争・平和”について考えてみませんか。

今年は、落語家の桂竹丸さんに、戦争を題材にした創作落語をお聴きいただきます。

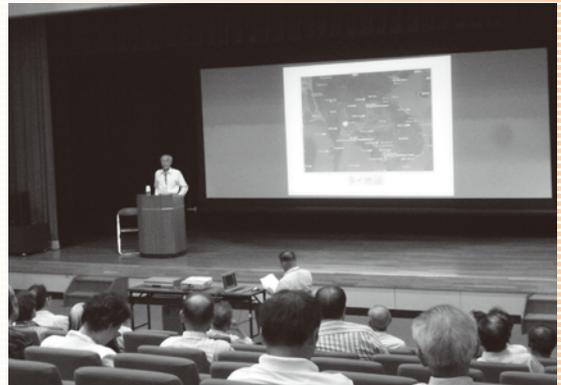
日にち：8月9日(土)

開催時間：午前10時～11時30分

(開場9時40分)

場所：保健福祉会館
ふれあいホール

内容：戦争体験者からの話・創作落語



昨年の体験者発表の様子

日本赤十字社玉城町分区よりお知らせ

日赤募金ご協力のお礼

5月より区長様を通じ皆様にご協力頂きました募金は、775,600円（H26.7.8現在）となりました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

なお、ご協力いただいた募金は、日本赤十字社 三重県支部を通じ「災害救助活動」や「国際活動」など赤十字の活動資金に活用されるほか、今年度行う「福祉体験教室」や「社会福祉大会」の事業費として町福祉活動資金として活用します。

JP労組から100万円を受ける

日本郵政グループ労働組合（JP労組）東海地方本部ユースネットワークから7月10日、同労組東海地方本部定期大会の席上で福祉車両購入にと100万円の寄付をいただきました。

JP労組では、書き損じ葉書、切手などを集約し地域社会へ貢献してみえます。

=写真は、目録を受ける本会松田副会長（右）とJP労組東海地方本部ユースネットワーク金子副議長=



身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談

毎月10日、20日、30日

13:00～15:00

玉城町保健福祉会館にて

予約不要

相談員：民生児童委員、人権擁護委員
行政相談員

ご寄附ありがとうございました。(4月～6月)

秋山 則子 様	2,000円
喫茶白ゆり 様	55,720円
カラオケハウス真心 様	15,082円
プランニング・ニュー 様	5,000円
野呂美代子 様	3,000円
玉城たんぽぽ 様	12,996円
匿名 様 (2名)	20,000円
元気バス募金箱	88,954円